投資者の皆さまへ

Monthly Fund Report

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）ーダイワスピリットー

追加型投信／海外／債券

信託期間　：2009年3月12日　から　無期限　　基　準　日　：2026年10月30日

決算日　　：毎月10日（休業日の場合翌営業日）　　回次コード　：4792

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

≪基準価額・純資産の推移≫

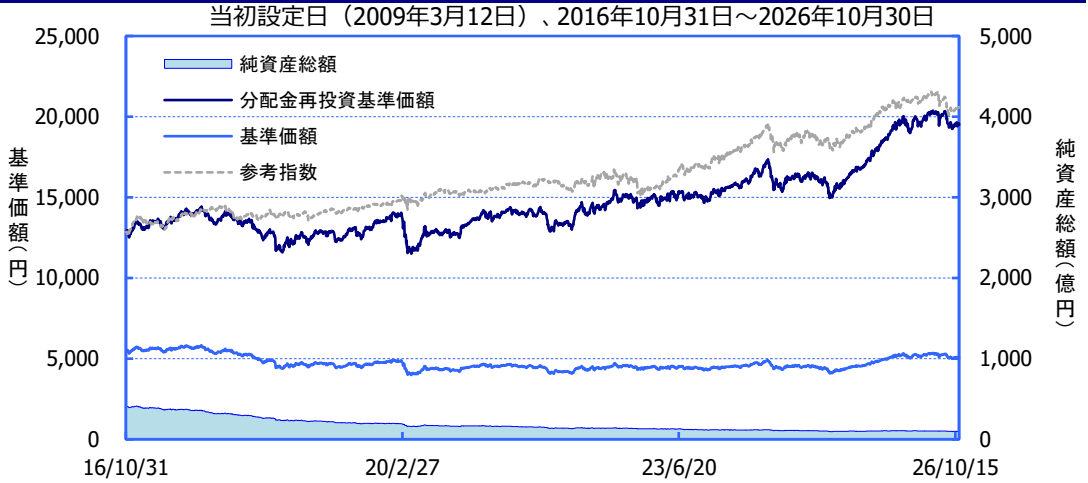
2026年10月30日現在

基準価額	5,052 円
純資産総額	95億円

期間別騰落率

期間	ファンド	参考指数
1カ月間	+1.2 %	+1.3 %
3カ月間	-2.3 %	-2.0 %
6カ月間	-1.0 %	-2.8 %
1年間	+8.0 %	+1.8 %
3年間	+31.8 %	+22.6 %
5年間	+38.9 %	+28.0 %
10年間	+51.7 %	+60.1 %
設定来	+95.1 %	+121.5 %

当初設定日（2009年3月12日）、2016年10月31日～2026年10月30日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。また、受益権の分割も修正しています。
※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※参考指数はFTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）です。運用成績と比較するベンチマークではありません。
※グラフ上の参考指数はグラフの起点時の分配金再投資基準価額に基づき指数化しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

≪分配の推移≫

（1万口当たり、税引前）

決算期（年/月）		分配金
第1～199期	合計*：	8,395円
第200期	(25/11)	15円
第201期	(25/12)	15円
第202期	(26/01)	15円
第203期	(26/02)	15円
第204期	(26/03)	15円
第205期	(26/04)	15円
第206期	(26/05)	15円
第207期	(26/06)	15円
第208期	(26/07)	15円
第209期	(26/08)	15円
第210期	(26/09)	15円
第211期	(26/10)	15円
分配金合計額	設定来*：	8,575円
	直近12期：	180円

＊第1～199期および設定来の分配金合計額には、分割前の分配金が含まれています。分割前（第1～4期）の分配金合計額は200円です。

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

≪主要な資産の状況≫

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成

資産	銘柄数	比率
外国債券	46	96.5%
コール・ローン、その他※		3.5%
合計	46	100.0%

※外貨キャッシュ、経過利息等を含みます。

マザーファンド（MF）別構成

ファンド名	比率
ダイワ外国債券先進国MF	50.2%
ダイワ外国債券新興国MF	49.3%
合計	99.5%

債券 種別構成

種別	比率
国債	57.5%
州債等	24.4%
国際機関債	10.7%
米国地方債	4.0%
合計	96.5%

通貨別構成

通貨	比率
先進国通貨	50.0%
豪ドル	29.3%
米ドル	10.8%
カナダ・ドル	9.9%
新興国通貨	49.0%
南アフリカ・ランド	16.7%
メキシコ・ペソ	16.2%
トルコ・リラ	16.1%
合計（除く日本円）	99.0%

※当ファンドは、2009年7月22日に9対10の受益権の分割（9口を10口に分割）を行っています。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用：大和アセットマネジメント Daiwa Asset Management

商号等　大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第352号

加入協会　一般社団法人資産運用業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

債券 ポートフォリオ特性値

	ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）ーダイワスピリットー	ダイワ外国債券 先進国MF	ダイワ外国債券 新興国MF
直接利回り（%）	9.4	3.6	15.3
最終利回り（%）	11.1	5.1	17.4
修正デュレーション	5.5	5.7	5.3
残存年数	8.3	7.1	9.6

債券 格付別構成

格付別	比率
AAA	21.6%
AA	29.4%
A	16.2%
BBB	---
BB以下	32.8%
無格付	---
合計	100.0%

※債券 ポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等の各特性値（直接利回り、最終利回り等）を、その組入比率で加重平均したものです。
※債券 格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。
※格付別構成については、当社所定の基準で採用した格付けを基準に算出しています。

組入上位10銘柄

※比率は、純資産総額に対するものです。

銘柄名	通貨	利率（%）	償還日	比率
Mexican Bonos	メキシコ・ペソ	7.75	2042/11/13	6.2%
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	南アフリカ・ランド	8.5	2037/01/31	5.4%
INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	豪ドル	3.1	2028/02/22	4.5%
QUEENSLAND TREASURY CORP.	豪ドル	5.25	2036/07/21	3.7%
Mexican Bonos	メキシコ・ペソ	7.75	2034/11/23	3.2%
Mexican Bonos	メキシコ・ペソ	7.75	2031/05/29	3.0%
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	豪ドル	1.1	2030/11/18	2.9%
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	南アフリカ・ランド	6.25	2036/03/31	2.8%
TURKEY GOVERNMENT BOND	トルコ・リラ	17.3	2028/07/19	2.7%
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	南アフリカ・ランド	8.75	2048/02/28	2.7%
合計				37.1%

≪基準価額の月次変動要因分解≫ 2026年10月

＜項目別要因分解＞

基準価額		変動額	債券要因	為替要因	分配金要因	運用管理費用要因等
2026年10月30日	2026年9月30日					
5,052円	5,009円	43	104	-39	-15	-7

＜通貨別要因分解＞

債券要因	先進国通貨			新興国通貨		
	米ドル	豪ドル	カナダ・ドル	トルコ・リラ	南アフリカ・ランド	メキシコ・ペソ
変動額（円）	11	15	7	30	23	19
通貨圏計（円）		33			71	

為替要因	先進国通貨			新興国通貨		
	米ドル	豪ドル	カナダ・ドル	トルコ・リラ	南アフリカ・ランド	メキシコ・ペソ
変動額（円）	1	10	8	-13	-10	-35
通貨圏計（円）		19			-58	

債券・為替要因計	先進国通貨			新興国通貨		
	米ドル	豪ドル	カナダ・ドル	トルコ・リラ	南アフリカ・ランド	メキシコ・ペソ
変動額（円）	11	25	15	16	13	-16
通貨圏計（円）		52			13	

※ 変動要因分解は、基準価額の変動要因の傾向を把握するために大和アセットマネジメントが日々のデータを基に簡便法により算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。
※ 上記データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

＜項目別要因分解＞

基準価額		変動額	債券要因	為替要因	分配金要因	運用管理費用要因等
5,052円	（設定来：円）	-3,948	7,907	-1,488	-8,555	-1,812

＜通貨別要因分解＞

債券要因	先進国通貨				新興国通貨			
	米ドル	豪ドル	カナダ・ドル	ユーロ	ブラジル・レアル	トルコ・リラ	南アフリカ・ランド	メキシコ・ペソ
変動額（円）	414	1,273	230	181	2,158	1,396	1,238	1,013
通貨圏計（円）	2,098				5,805			

為替要因	先進国通貨				新興国通貨			
	米ドル	豪ドル	カナダ・ドル	ユーロ	ブラジル・レアル	トルコ・リラ	南アフリカ・ランド	メキシコ・ペソ
変動額（円）	216	969	296	-237	-1,043	-1,879	-64	254
通貨圏計（円）	1,244				-2,731			

債券・為替要因計	先進国通貨				新興国通貨			
	米ドル	豪ドル	カナダ・ドル	ユーロ	ブラジル・レアル	トルコ・リラ	南アフリカ・ランド	メキシコ・ペソ
変動額（円）	629	2,242	526	-55	1,116	-483	1,174	1,267
通貨圏計（円）	3,342				3,074			

※ 変動要因分解は、基準価額の変動要因の傾向を把握するために大和アセットマネジメントが日々のデータを基に簡便法により算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。
※ 受益権分割のため設定時の基準価額を9,000円として計算しています。
※ 上記データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。
※ 上記データは設定来の通貨別要因分解であり、基準日現在投資していない通貨も表示しています。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

≪分配金の計算過程≫

（単位：円、1万口当たり・税引前）

		配当等収益	経費控除後配当等収益①	有価証券売買等損益	経費控除後・繰越欠損補填後売買益②	分配準備積立金③	収 益調整金④	分配対象額（分配金支払い前）①+②+③+④	分配金	分配金支払い後基準価額
第200期	25/11/10	36	31	6	0	508	68	607	15	4,818
	分配金内訳		15		0	0	0			
第201期	25/12/10	36	35	152	0	524	68	627	15	4,985
	分配金内訳		15		0	0	0			
第202期	26/1/13	40	39	135	0	543	69	651	15	5,139
	分配金内訳		15		0	0	0			
第203期	26/2/10	33	31	99	0	567	69	667	15	5,251
	分配金内訳		15		0	0	0			
第204期	26/3/10	33	27	△ 106	0	583	69	679	15	5,156
	分配金内訳		15		0	0	0			
第205期	26/4/10	36	33	35	0	594	70	697	15	5,206
	分配金内訳		15		0	0	0			
第206期	26/5/11	37	30	△ 57	0	612	71	713	15	5,164
	分配金内訳		15		0	0	0			
第207期	26/6/10	37	33	11	0	627	71	730	15	5,191
	分配金内訳		15		0	0	0			
第208期	26/7/10	40	37	68	0	644	71	753	15	5,278
	分配金内訳		15		0	0	0			
第209期	26/8/10	39	33	△ 99	0	666	72	770	15	5,196
	分配金内訳		15		0	0	0			
第210期	26/9/10	39	32	△ 136	0	683	72	788	15	5,078
	分配金内訳		15		0	0	0			
第211期	26/10/13	40	33	△ 42	0	700	72	806	15	5,054
	分配金内訳		15		0	0	0			

※ 上記データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。
※ 円未満は四捨五入しています。下段の数値は、分配金の内訳です。
※ 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
■ 分配準備積立金---期中の配当等収益や有価証券売買益などのうち、当期の分配金に充当しなかった部分は、分配準備金として積立てます。分配準備積立金は、次期以降の分配金に充当することができます。
■ 収益調整金---追加型の投資信託において、追加設定が行なわれることによる既存投資者への分配対象額の希薄化を防ぐために設けられた勘定です。

■配当等収益と分配金について

当ファンドの直近決算（第211期、2026/10/13）における分配金は15円（1万口当たり、税引前）としております。上の表にある通り、直近決算の期中に得られる経費控除後の配当等収益は33円となっています。また、分配対象額は、分配金支払い前で806円となっています。

当ファンドでは、継続的な分配を行うことを目標に分配金を決定していますが、分配金は分配対象額の水準、配当等収益の水準、基準価額の水準、市場環境等を総合的に勘案して決算の都度、決定していますので、現在の分配金の水準を維持できない、または分配金が支払われない場合もあります。

≪ファンドマネージャーのコメント≫

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

【運用状況】
マザーファンド別の組入比率は前月末と同程度の水準を維持しました。

【投資環境】

《先進国》

債券市場：金利は低下

海外債券市場では、金利は低下しました。米国では、AI（人工知能）関連ビジネスの資金繰り懸念やフランスの政治不安などを背景に市場のリスク回避姿勢が強まり、安全資産とされる米国債が買われて金利は低下しました。その他の国の金利は、おおむね米国につれて低下しました。

為替市場：投資対象通貨は対円でおおむね上昇

為替市場では、投資対象通貨は対円でおおむね上昇しました。AI関連ビジネスの資金繰り懸念やフランスの政治不安などを背景に市場のリスク回避姿勢が強まり、円高が進行する場面もありましたが、原油価格が上昇する中で日本の貿易収支悪化への懸念も根強く、米ドル円は小幅な動きにとどまりました。他方、目先の利上げ観測が高まった豪ドルとカナダ・ドルは対円で上昇しました。

《新興国》

債券市場：金利は低下

新興国債券市場では、AI（人工知能）関連ビジネスの資金繰り懸念やフランスの政治不安などを背景に米国金利が低下した影響に加え、各国固有の要因も重なり、金利は低下しました。トルコでは、インフレ鈍化を受けて早期の利下げ再開の期待が高まり、金利は低下しました。実際、10月下旬の金融政策決定会合では今年1月以来となる利下げが決定されました。南アフリカでは、中期財政計画で財政赤字の縮小見通しが示され、金利は低下しました。メキシコでは、米国の利上げに追随する必要はないとの中銀の姿勢が示されたこともあり、金利は低下しました。

為替市場：投資対象通貨は対円で下落

為替市場では、投資対象通貨は対円で下落しました。トルコ・リラは、対米ドルで緩やかな下落基調が続く中、対円でも下落しました。南アフリカ・ランドは、貴金属価格の下落などが重しとなり、対円で下落しました。メキシコ・ペソは、利上げに消極的な中銀の姿勢を受けて米国との金利差縮小が意識され、対円で下落しました。

【今後の展望】

《先進国》

債券市場

米国では、AI関連の設備投資を中心に、経済は堅調に推移すると見込まれます。インフレ抑制に向けて、当面は追加利上げが意識される中、金利は高止まりしやすいと考えます。米国の中間選挙を経て、中東情勢を巡る地政学リスクの行方や、データセンターなどAI関連の設備投資を巡る思惑に変化が生じれば、金利の変動が大きくなる可能性もあります。その他の国の金利は、おおむね米国につれる展開を想定します。

為替市場

日米の金融政策はいずれも利上げに向かっており、金利差による米ドル円の変動は限られると考えます。中東情勢の緊張が続けば、原油高が円安圧力となる一方、為替介入に対する警戒感の高まりが米ドル円の上値を抑えると想定します。逆に原油安で円高が進行すれば、為替介入に対する警戒感の後退が米ドル円の下値を支えると見込まれるため、当面の米ドル円は方向感に欠ける展開を予想します。その他の通貨も対円ではおおむね同様の展開を想定します。

《新興国》

債券市場

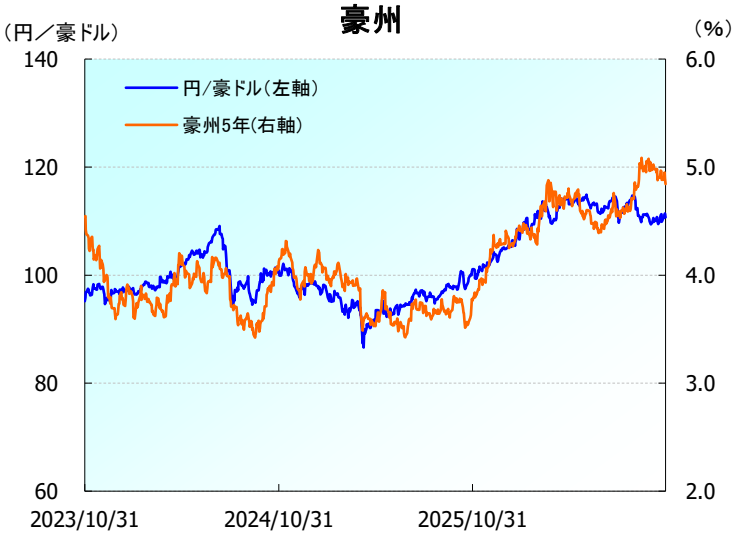
新興国債券市場は、短期的に原油価格や米国金利の動向に左右される展開を見込みますが、中期的には各国の物価や為替の動向に乖離が生じる中で、金融政策の対応および金利の変動も国によってまちまちになると想定します。総じて見れば、相対的に高い利息収入が債券価格変動の緩衝材になると期待されます。

為替市場

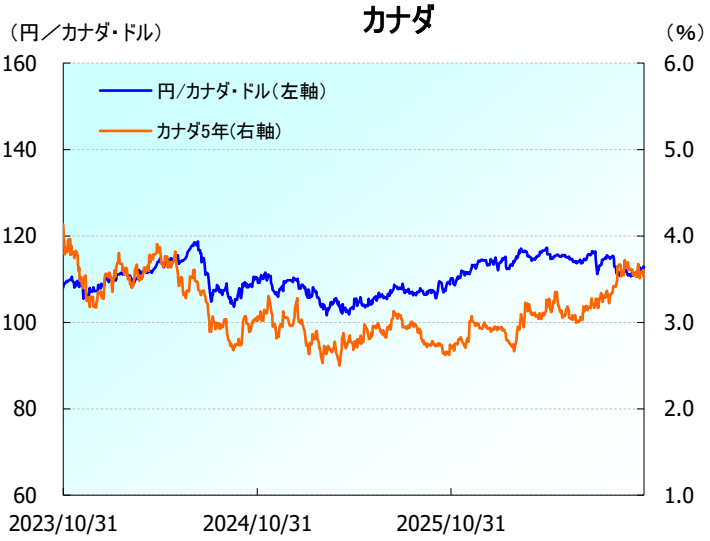
新興国通貨は、米国の金利動向に対して神経質な展開を想定します。ただし、今回の米国の利上げは、2022年から2023年とは異なり小幅にとどまると見込まれるほか、資源高などによって対外収支が改善している国が多いため、米ドル高・新興国通貨安の進行は抑制されやすいと考えます。

(2023年10月31日～2026年10月30日)

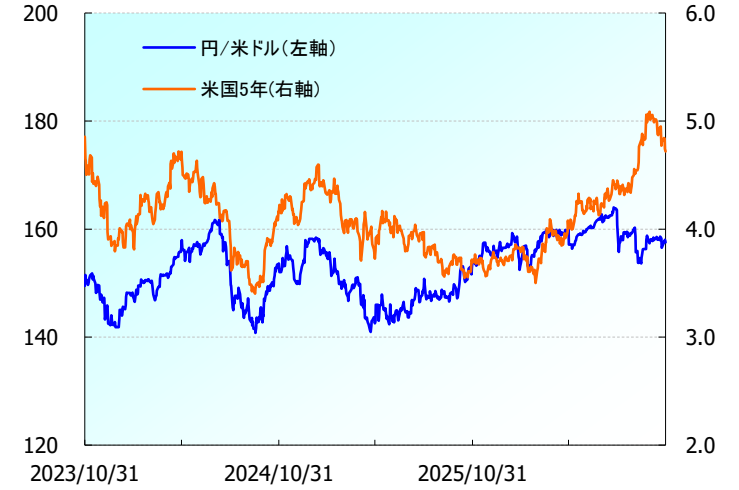
豪州



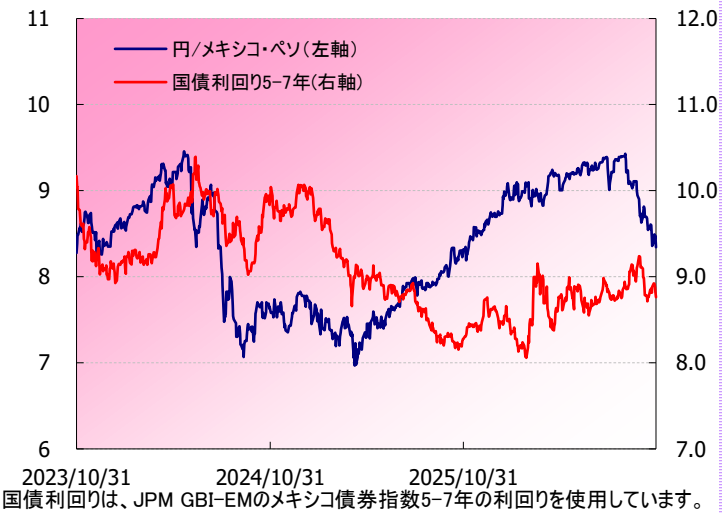
カナダ



米国

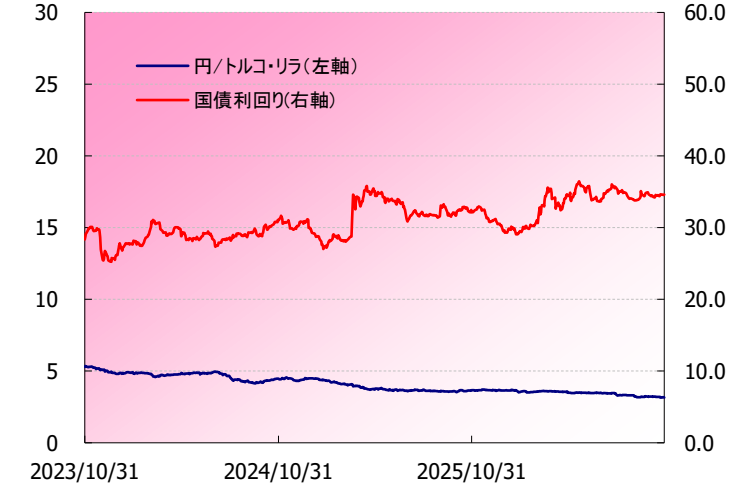


メキシコ



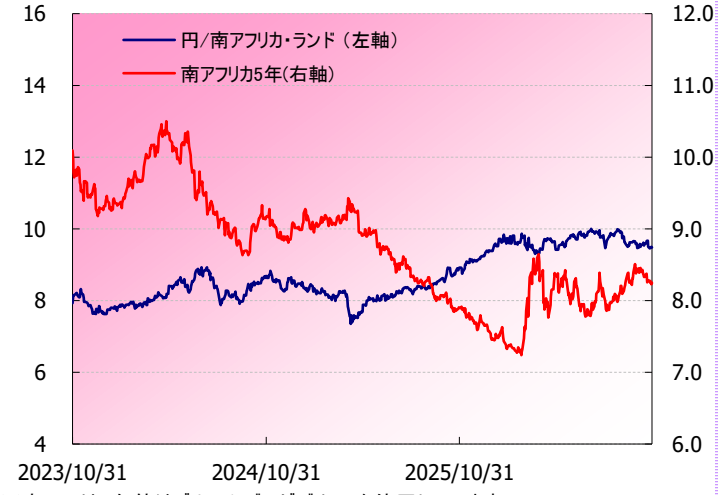
※国債利回りは、JPM GBI-EMのメキシコ債券指数5-7年の利回りを使用しています。

トルコ



※国債利回りは、JPM GBI-EMのトルコ債券指数の利回りを使用しています。

南アフリカ



※南アフリカ5年債はブルームバーグバリューを使用しています。

※JPM GBI-EMは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

(出所)ブルームバーグ、JPモルガン、大和アセットマネジメント

≪ファンドの目的・特色≫

ファンドの目的

・海外の債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

・先進国通貨建債券および新興国通貨建債券に分散投資します。

・毎月 10 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

≪投資リスク≫

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

公社債の価格変動 （価格変動リスク・信用リスク）	公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が債務不履行を発生させた場合、またはその可能性が予想される場合には、公社債の価格は下落します。 新興国の公社債は、先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになると考えられます。組入公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。 新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

●当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

●当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

≪ファンドの費用≫

投資者が直接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉2.75%(税抜2.5%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率1.43% (税抜1.3%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
委託会社	配分については、 下記参照	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
販売会社		運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
受託会社		運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。

<運用管理費用の配分>(税抜)(注1)	委託会社	販売会社	受託会社
300億円未満の場合	年率0.56%	年率0.70%	年率0.04%
300億円以上 1,000億円未満の場合	年率0.51%	年率0.75%	
1,000億円以上の場合	年率0.46%	年率0.80%	

その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

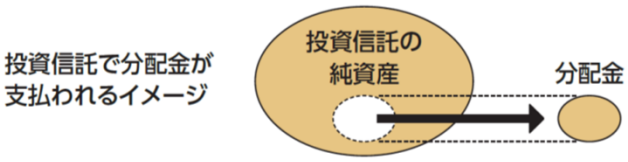
(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。
(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

≪お申込みメモ≫

購入単位	最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万口当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万口当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して 5 営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	ロンドンの銀行またはニューヨークの銀行のいずれかの休業日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	原則として、午後 3 時 30 分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生した場合には、購入、換金の申込みの受付けを中止すること、すでに受付けた購入の申込みを取消すことがあります。
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること（繰上償還）ができます。 ・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
収益分配	年 12 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISA の対象ではありません。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

≪収益分配金に関する留意事項≫

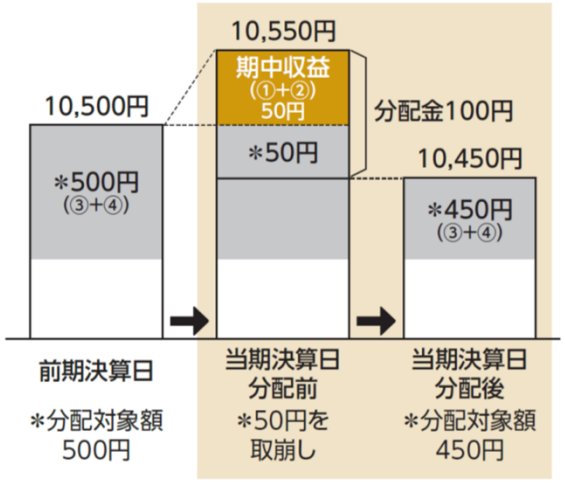
分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



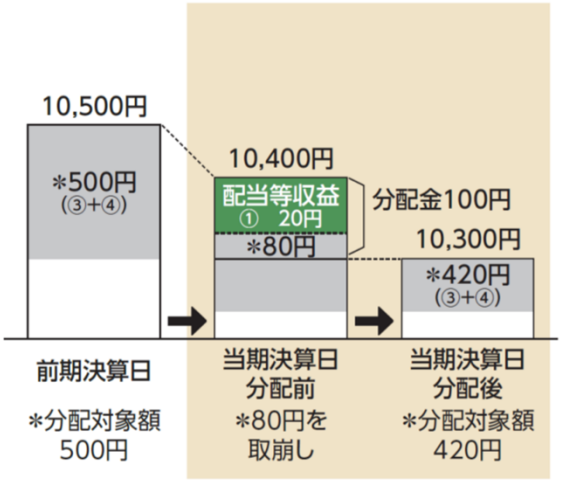
分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合

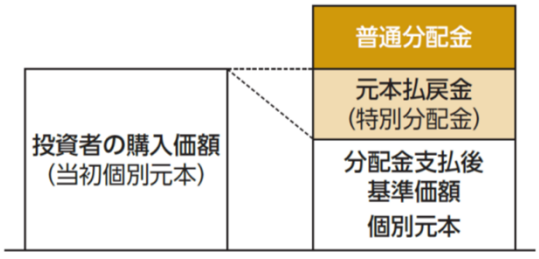


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

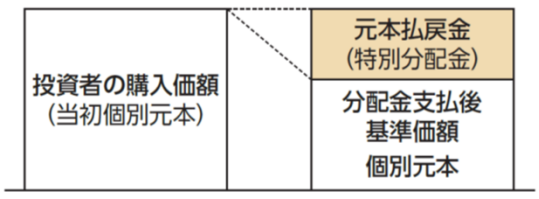
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金…… 個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）…… 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。
また、元本払戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。

≪当資料のお取り扱いにおけるご注意≫

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▸ 大和アセットマネジメント　フリーダイヤル　0120-106212（営業日の 9:00～17:00）

当社ホームページ

▸ https://www.daiwa-am.co.jp/

取扱い販売会社

2026年10月30日　現在

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）ーダイワスピリットー

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。